

公益社団法人 私立大学情報教育協会
平成 24 年度第 3 回薬学教育 FD/ICT 活用研究委員会 議事概要

日時：平成 24 年 8 月 30 日（木） 14 時 00 分～16 時 30 分

場所：私立大学情報教育協議会 事務局会議室

出席者：松山委員長、黒澤副委員長、大嶋委員、大谷委員、松野委員（議事録）
（事務局 井端、森下、平田）

1. 検討事項

（1）薬学教育における授業改善モデルの作成（継続）

授業改善モデルについて、第 1 回委員会で「薬学教員に期待される専門性」、第 2 回委員会で「教育改善モデル実現に求められる教育力」を作成した。これを踏まえて、今回は授業改善モデルの提案についての解説を作成することとした。

- ① 解説作成の方向性を確認すべく、医学および歯学のモデルを参考とした。医学では「医師として求められる基本資質」に対して生涯学習できるような改善モデルを提案し、歯学では口腔疾患を通じて、口腔の健康が人間全体の健康に重要であるという視点に立っている。これを踏まえ、薬学としては「患者の健康を第一に考える」ことをモデルの主眼とすることにした。
- ② 担当委員より作成された「薬学教育における教育改善モデル提案（前文）」の原案を検討した。薬学教育モデル・コアカリキュラムにおける現行の医薬連携は、医師との連携のみに偏っているという問題点があるため、看護師や栄養士との連携を模索することを強調することにした。さらに、医薬分業の進展やセルフメディケーションの推進などに伴い、医療における薬剤師の重要性が高まっていることから、専門性を発揮して医療の質の向上に貢献できる薬剤師を目指して、資料 1 のように文章を見直し修正した。
- ③ 教育改善モデルに関しては、担当委員によって追加された部分を確認した。基本的には、校正部分の内容に異存はなく、2.4 の各項目に見合うタイトルをつける形で修正を行った。さらに、2.4⑦（評価と振り返り）で実施する口頭試験については、イメージしやすいように担当委員作成の説明文の内容を図に変更して追加することにした。図は、後日メールで担当委員が送り、モデル完成とすることを確認した。

2. 今後の予定

今年度の委員会は、本報告書の完成をもって終了とし、平成 25 年度は委員の委嘱が行われるので、新体制で委員会を行うことが報告された。特に委員の選定については、出席・欠席の委員が固定化されているので、より委員会に貢献できる委員の候補者を選定することとした。

以上